

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

| 番号 | 薬効分類 | 区分 | 商品名 | 規格単位 | 薬価(円) | 製造販売 | 成分名 | 効能・効果 | 用法・用量 | 備考 |
|----|------|-----|--------------------------------|------------------------|----------------------|----------|---------------|---|---|-------------|
| 1 | 396 | 内用薬 | セイブルOD錠50mg セイブルOD錠75mg | 50mg 1錠 75mg 1錠 | 52.90円 73.80円 | 三和化学研究所 | ミグリトール | 糖尿病の食後過血糖の改善(ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ピグアナイド系薬剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る) | 通常、成人にはミグリトールとして1回50 mgを1日3回毎食直前に経口投与する。 なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら1回量を75 mgまで増量することができる。 | 再審査期間中の剤型追加 |
| 2 | 399 | 内用薬 | レグバラ錠12.5mg | 12.5mg 1錠 | 374.20円 | 協和発酵キリン | シナカルセト塩酸塩 | 1. 維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症 2. 副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症 | 1. 維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症 開始用量としては、成人には1日1回シナカルセトとして25mgを経口投与する。以後は、患者の副甲状腺ホルモン(PTH)及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1日1回25~75mgの間で適宜用量を調整し、経口投与する。ただし、PTHの改善が認められない場合には、1回100mgを上限として経口投与する。増量を行う場合は増量幅を25mgとし、3週間以上の間隔をあけて行うこと。 2. 副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症 開始用量としては、成人にはシナカルセトとして1回25mgを1日2回経口投与する。以後は、患者の血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1回25~75mgの間で適宜用量を調整し、1日2回経口投与する。増量を行う場合は1回の増量幅を25mgとし、2週間以上の間隔をあけて行うこと。なお、血清カルシウム濃度の改善が認められない場合は、1回75mgを1日3回又は4回まで経口投与できる。 | 再審査期間中の規格追加 |
| 3 | 625 | 内用薬 | プリジスタ錠600mg | 600mg 1錠 | 885.00円 | ヤンセンファーマ | ダルナビルエタノール付加物 | HIV感染症 | 通常、成人にはダルナビルとして1回600 mgとリトナビル1回100 mgをそれぞれ1日2回食事中又は食直後に併用投与する。投与に際しては、必ず他の抗HIV薬と併用すること。 | 再審査期間中の規格追加 |
| 4 | 212 | 注射薬 | オノアクト点滴静注用150mg | 150mg 1瓶 | 17,672円 | 小野薬品工業 | ランジオロール塩酸塩 | 1. 手術時の下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置： 心房細動、心房粗動、洞性頻脈 2. 手術後の循環動態監視下における下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置： 心房細動、心房粗動、洞性頻脈 3. 心機能低下例における下記の頻脈性不整脈： 心房細動、心房粗動 | 1. 手術時の下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置： 心房細動、心房粗動、洞性頻脈 ランジオロール塩酸塩として、1分間0.125mg/kg/minの速度で静脈内持続投与した後、0.04mg/kg/minの速度で静脈内持続投与する。投与中は心拍数、血圧を測定し0.01~0.04mg/kg/minの用量で適宜調節する。 2. 手術後の循環動態監視下における下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置： 心房細動、心房粗動、洞性頻脈 ランジオロール塩酸塩として、1分間0.06mg/kg/minの速度で静脈内持続投与した後、0.02mg/kg/minの速度で静脈内持続投与を開始する。5~10分を目安に目標とする徐拍作用が得られない場合は、1分間0.125mg/kg/minの速度で静脈内持続投与した後、0.04mg/kg/minの速度で静脈内持続投与する。投与中は心拍数、血圧を測定し0.01~0.04mg/kg/minの用量で適宜調節する。 3. 心機能低下例における下記の頻脈性不整脈： 心房細動、心房粗動 ランジオロール塩酸塩として、1µg/kg/minの速度で静脈内持続投与を開始する。投与中は心拍数、血圧を測定し1~10µg/kg/minの用量で適宜調節する。 | 再審査期間中の規格追加 |

| 番号 | 薬効分類 | 区分 | 商品名 | 規格単位 | 薬価(円) | 製造販売 | 成分名 | 効能・効果 | 用法・用量 | 備考 |
|----|------|-----|------------------------------|--------------------------------------|-----------|-------------------|--|--|--|---------------------|
| 5 | 249 | 注射薬 | ピデュリオン皮下注用 2mgペン | 2mg 1キット | 3,586円 | アストラゼナカ | エキセナチド | 2型糖尿病 ただし、食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ヒグアナイド系薬剤及びチアゾリジン系薬剤（各薬剤単独療法又は併用療法を含む）による治療で十分な効果が得られない場合に限る。 | 通常、成人には、エキセナチドとして、2mgを週に1回、皮下注射する | 再審査期間中の規格追加（新キット製品） |
| 6 | 249 | 注射薬 | インスリン グラルギン BS注カート「リリー」 | 300単位1筒 | 1,031円 | 日本イーライリリー | インスリン グラルギン (遺伝子組換え) [インスリン グラルギン後続1] | インスリン療法が適応となる糖尿病 | 通常、成人では、初期は1日1回4～20単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1日4～80単位である。ただし、必要により上記用量を超えて使用することがある。 | ハイオ後続品 |
| | | | インスリン グラルギン BS注ミリオペン「リリー」 | 300単位1 キット | 1,696円 | | | | | |
| 7 | 613 | 注射薬 | ソシン配合点滴静注用 バッグ4.5 | (4.5g) 1 キット(生理食 塩液100mL 付) | 3,315円 | 大鵬薬品工業 | タソバクタム ナトリウム /ピペラ シリンナト リウム | (適応菌種) 本剤に感性的ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌属、腸球菌属、モラクセラ(プランハメラ)・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、ペプトストレプトコッカス属、クロストリジウム属(クロストリジウム・ディフィシルを除く)、バクテロイデス属、プレボテラ属 (適応症) 敗血症、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎 | ・敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎及び胆管炎の場合▼通常、成人にはタソバクタム・ピペラシリンとして、1回4.5g(カ匳)を1日3回点滴静注する。肺炎の場合、症状、病態に応じて1日4回に増量できる。通常、小児には1回112.5mg(カ匳)/kgを1日3回点滴静注する。なお、症状、病態に応じて1回投与量を適宜減量できる。ただし、1回投与量の上限は成人における1回4.5g(カ匳)を超えないものとする。▼・腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合▼通常、成人にはタソバクタム・ピペラシリンとして、1回4.5g(カ匳)を1日2回点滴静注する。なお、症状、病態に応じて1日3回に増量できる。通常、小児には1回112.5mg(カ匳)/kgを1日2回点滴静注する。なお、症状、病態に応じて1回投与量を適宜減量できる。また、症状、病態に応じて1日3回に増量できる。ただし、1回投与量の上限は成人における1回4.5g(カ匳)を超えないものとする。 | 再審査期間中の規格追加（新キット製品） |
| 8 | 634 | 注射薬 | オルプロリクス静注用 250 | 250国際単位1 瓶(溶解液 付) | 53,613円 | バイオジェン・アイデック・ジャパン | エフトレノ ナコグ アル ファ(遺伝 子組換え) | 血液凝固第Ⅸ因子欠乏症患者における出血傾向の抑制 | 本剤を添付の溶解液全量で溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に注射する。 通常、1回体重1kg当たり50国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。定期的に投与する場合、通常、体重1kg当たり50国際単位を週1回投与、又は100国際単位を10日に1回投与から開始する。以降の投与量及び投与間隔は患者の状態に応じて適宜調節するが、1回の投与量は体重1kg当たり100国際単位を超えないこと。 | 新有効成分含有医薬品 |
| 9 | 131 | 外用薬 | コンプトミニ配合点眼液 | 0.4mL1個 | 64.00円 | 参天製薬 | ドルゾラミ ド塩酸塩/ チモロール マレイン酸 塩 | 次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合： 緑内障、高眼圧症 | 1回1滴、1日2回点眼する。 | 再審査期間中の規格追加 |
| 10 | 225 | 外用薬 | エンクラッセ62.5µgエ リプタ7吸入用 | 7吸入1キット | 1,479.50円 | グラクソ・ス ミスクライン | ウメクリジ ニウム臭化 物 | 慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 | 通常、成人にはエンクラッセ62.5µg吸入(ウメクリジニウム)として62.5µg)を1日1回吸入投与する。 | 新用量医薬品 |
| | | | エンクラッセ62.5µgエ リプタ30吸入用 | 30吸入1キ ット | 6,166.60円 | | | | | |

| 番号 | 薬効分類 | 区分 | 商品名 | 規格単位 | 薬価(円) | 製造販売 | 成分名 | 効能・効果 | 用法・用量 | 備考 |
|----|------|-----|---------------|----------|------------|--------------|------------------------------|--|--|--------------------|
| 11 | 225 | 外用薬 | アノーロエリプタ30吸入用 | 30吸入1キット | 8,324.20円 | グラクソ・スミスクライン | ウメクリジニウム臭化物/ピランテロールトリフェニル酢酸塩 | 慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解（長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合 | 通常、成人にはアノーロエリプタ1吸入（ウメクリジニウムとして62.5μg及びピランテロールとして25μg）を1日1回吸入投与する。 | 新有効成分含有医薬品、新医療用配合剤 |
| 12 | 729 | 外用薬 | パッチテストパネル（S） | 2枚1組 | 15,875.20円 | 佐藤製薬 | 省略 | アレルギー性皮膚疾患のアレルゲンの確認 | 本剤を皮膚面に貼付する。貼付2日後に本剤を剥がし、剥がしてから30分から1時間後及び1日又は2日後に反応を以下の基準により判定する。なお、必要に応じて剥がしてから3～5日後にも同様に判定する。 -：反応なし +？：紅斑のみ +：紅斑+浸潤、丘疹 ++：紅斑+浸潤+丘疹+小水疱 +++：大水疱 IR：刺激反応 | パッチテスト用医薬品 |

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報をご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。